令和４年度住民参画・問題解決型学習推進事業【宮城野区】

「枡江の森 魅力発信プロジェクト」

講座レポートはこちら

幸町市民センター×宮城野区中央市民センター

1　事業概要

枡江小学校に隣接する“枡江の森”が小学生や地域住民にとって身近で愛着を持てる憩いの場となるように魅力を再発見し、それを広く発信しようという事業です。令和４年度で５年目を迎えました。

森の達人を目指す市民企画員が集い、枡江の森の魅力を発信するため、森に関連したイベントの企画・運営・広報活動を行っています。

2　令和４年度の活動　～森においでよ！森に親しむ・森で楽しむ～

企画員は、毎月第一土曜日に幸町市民センターで定例会を行い、森に足を運んでもらうイベント企画を考えました。令和４年度は“森においでよ！森に親しむ・森で楽しむ”をキャッチコピーにして、実際に森など野外での活動で活躍している人材や団体に講師を依頼し、イベントを開催しました。

６月には「森の中で深呼吸＆ストレッチ」で、森での過ごし方を提案、１１月には「秋の森あそびとかまどでたき火」で、子どもたちに森での楽しい体験を提供しました。また、１２月には研修会を開き、企画員が今後森での活動をどのように展開していくかについて、講座運営の視点を学びました。

６月開催「森の中で深呼吸＆ストレッチ」講座

１１月開催「秋の森あそびとかまどでたき火」講座

3　成果と課題

令和４年度は、 企画員がこれまでの活動を発展させて“学びを地域へ還元する”ことができました。 また、森の インタープリター（その場所の自然や歴史文化などを伝え、よりよい関わり方を促す役割） として活躍している講師から学ぶことで、自分たちの知識を“ただ伝える”だけではなく、“参加する人の学びに寄り添う”視点を得て、より学びが深められています。

研修会でインタープリターについて学ぶ企画員（左）

森に自生する“タラヨウ”は葉の裏に文字が書けます（右）

4　今後の展望　～目指すは、森のインタープリター！～

地域の魅力を発信する企画員は、次のステップへ！

令和５年度は、これまでの事業に一区切りをつけて、森の魅力をより積極的に伝えていくための新たな一歩を踏み出します。幸町市民センターの支援を受けつつ、企画員一人一人の個性を生かしながら活動していく予定です。森の魅力を発信する地域の人材として活躍が期待されています。

市民記者がこれまで書いた Web 記事を掲載しています

（協力：TOHOKU360）→